

CHIBA 赤十字 NOW

2022
Vol. 59



【特集】

『おたがいさま』でつながる地域づくり

『おたがいさま』で つながる地域づくり

赤十字の活動は、「苦しんでいる人を救いたい」という赤十字の人道的使命に賛同する多くのボランティアによって支えられています。千葉県内では約6,000人の赤十字ボランティアが9つのグループ(奉仕団)に分かれ、地域のネットワークや専門技術・特技を活かして活躍しています。

今回は、地域に根ざした様々な活動を行っている「地域奉仕団」をご紹介します!

南房総市赤十字奉仕団

📷 認知症予防カフェでの活動取材してきました!

周りには田んぼが広がるのどかな場所に、認知症予防カフェ「おたがい^{さま}茶間カフェ」がありました。木造平屋建ての立派な古民家を貸し切って、子どもからお年寄りまですべての人を受け入れているのが、この「おたがい^{さま}茶間カフェ」です。玄関に近づくと、中から賑やかな声が聞こえてきます。「お邪魔しまーす!」と声をかけると、素敵な笑顔で奉仕団のみなさんが出迎えてくれました。「どうぞ入ってください」と明るく案内してくれた大広間は、カフェというより、まるでおばあちゃんの家に来たような安心感のある雰囲気。清潔感があり開放的な空間で、利用者^{さま}のみなさんが冗談を言って笑い合ったり、真剣な顔で話し込んだり...それぞれが自由にのびのびとおしゃべりに花を咲かせていました。想像していたよりも、とても明るく賑やかな雰囲気に驚きました。

そんな認知症予防カフェで活動している
南房総市赤十字奉仕団(丸山地区分団)のみなさんに
お話を聞きました!



左から丸まり子さん、石井洋子さん、平井恵美子さん、松田恵子さん

100人ですか!それはすごいですね!
普段は何人くらいの方が利用されているんですか?

40名ほどです。主に利用しているのは地域の高齢者ですが、館山市など市外からいらっしゃる方もいますよ。夏休みには小学生が遊びに来たりと、幅広い年齢層の人が集まって、交流の場となっています。ここで知り合って仲良くなったという方も多く「この歳になって友達ができたよ」と喜ぶ利用者さんも。



こちらの認知症予防カフェはいつからあるんですか?

平成28年3月2日にオープンしました。

丸山地区で地域福祉フォーラムが開催された折、地域住民から「認知症の方やその家族、地域の方、誰でも気軽に立ち寄れる場所を作ってほしい」という声があがり、それに応えるため、私たち赤十字奉仕団を含む13名のボランティアが発起人となり、設立しました。この地区では一番初めにできた認知症予防カフェなので、初日は高齢者だけでなく小学生も遊びにきたりして、100人近い人が集まったんですよ。

地域^{さま}のみなさんの交流の場となっているんですね。

そうですね。コロナ禍でしばらくお休みしていた間も「はやく再開してほしい」という利用者さんの要望が多く、みなさんにとって必要な場所になっていると思いますし、「ここに来ることでおしゃべりをする機会ができたわ」と嬉しそうに話す利用者さんを見ると、毎日家で過ごすのではなく、こういった場所があることで日々の生活にメリハリが出てくるんじゃないかなと感じます。

地域奉仕団とは...

昭和23年に創設された地域奉仕団は、来年創設75周年を迎える千葉県内でもっとも歴史がある奉仕団です。地域奉仕団は、市区町村ごとに組織され、防災・減災活動や救急法の普及、献血推進活動、高齢者支援活動など地域に根ざした様々な活動を行っています。



防災訓練に参加し非常食の炊き出し



子どもを対象に防災教室を開催



献血への協力を呼びかけ



こちらではボランティアとしてどんな活動をしているんですか？

利用者さんにお茶やお菓子を提供したり、話し相手になっています。ボランティアの中には元看護師や元保健師、赤十字の健康生活支援講習受講者もいるため、認知症の方に対しては、症状の進行具合をボランティア間で情報共有して、積極的に声をかけるようにしていますね。

私たち以外にもカフェの運営をお手伝いしてくれる地域住民がいるんですよ。例えば、コロナ前はみんなでお昼を食べていたんですが、お弁当を毎週配達してくれる人がいたり、エアコンを譲ってくれた人がいたり。地域の沢山の人たちに支えてもらって、このカフェは運営できているんです。

地域全体で支え合っているんですね。そんな中で、今後の課題と思われることはありますか？

ここに来たくても、移動手段がなくて来られない高齢の利用者さんがいることです。こういった場所なので車がないと来られないですし、高齢のため車を手放した方は、ご家族などがいれば送迎してもらえますが、それが難しい人もいます。今はそういった方は数名なのでボランティアが送り迎えをして対応できていますが、今後そういった方が増えてきた時にどうしたらいいのか心配です。カフェの近くにバス停などができれば嬉しいのですが...うふふ。

ここで過ごす利用者さんやボランティアのみなさんの楽しそうな姿が印象的でした。どんな想いで活動されているんですか？

利用者さんが元気でニコニコ楽しそうにされている様子を見るのは嬉しいし、帰り際に「楽しかったよ～また来るわね」と言ってくれた時にはやりがいを感じます。私たちもここでの活動は楽しいですし、それこそ「おたがいさま」なんです。それに、いずれ自分たちも年をとって誰かのお世話になる日がくるので、「おたがいさま」の気持ちは常に持っていますよ。このカフェが地域の高齢者を見守って支える拠点になっていければと思います。

おたがい^{さま}茶間カフェは取材班も「また来たい」と思える、たくさんの笑顔と元気が溢れる場所でした。それは、奉仕団員をはじめとした地域住民による地域づくりへの強い想いがあるからこそです。これからも「おたがいさま」の気持ちで、地域の高齢者を支える拠点づくりの活動は続いていきます。

おたがい茶間カフェ

Information

営業日：毎週水曜日10時～15時

※コロナにより現在は
第1・3水曜日10時～12時

場 所：南房総市岩糸1082番地

対 象：どなたでも

参加費：200円

主 催：おたがいさまネットワークまるやま



合言葉は「う・い・て・ま・て」 コロナ下の着衣泳教室

いよいよ、夏休み！海や川での水遊びも楽しみの一つですが、気をつけたいのが水の事故です。

千葉県赤十字安全水泳奉仕団は、夏休み前の6月から7月にかけて、県内の小学校で「着衣泳教室」を開催し、水難事故の危険性や万が一の時の実践的な対処法を伝えています。コロナの影響により、令和3年度からプールではなく体育館でスライドを用いたプレゼンテーションや寸劇による講習を行い、コロナ下でも水の事故を未然に防ぐための活動を続けています。



水に浮く「浮き身」の姿勢



ペットボトルを用いた水難救助体験



ライフジャケット着用体験

八千代市立八千代台小学校から千葉県赤十字安全水泳奉仕団にお手紙が届きました



お手紙から一部抜粋

- もし自分が水の事故にあったとしても、「ういてまつ」というあいことばで救じよをまちたいとおもいます。
- 服を着たままプールや川におちたら、服は着たまま、くつをはいたままというのがびっくりしました。ランドセルでうけるのがびっくりしました。
- おぼれている人がいたら、まずはおちついて教えてもらったことを思い出して、自分の命も人の命も守りたいと思います。

ぞくぞく再開してます！ いのちと健康を守る赤十字講習会

コロナの影響により、救急法基礎講習を除く講習会は2年近く開催を見合わせていましたが、令和4年度から救急員養成講習・幼児安全法支援員養成講習・健康生活支援講習支援員養成講習が再開となりました。

赤十字講習会を受講してみませんか？

赤十字では、講習会を通じて救命・健康・安全に関する知識・技術の普及を行っています。

救急法

基礎講習

手当の基本、人工呼吸・胸骨圧迫の方法、AED(自動体外式除細動器)の使い方、気道異物除去の方法などを学びます。



救急員養成講習

急病の手当、けが・きずの応急手当(止血・包帯の仕方)、骨折の固定法、搬送などを学びます。



幼児安全法

子どもに起こりやすい事故・けがの予防や手当、看病の仕方、子どもへの人工呼吸・胸骨圧迫の方法、AEDの使い方などを学びます。



健康生活支援講習

高齢者への理解と支援の方法、日常生活での介助をはじめ、生活習慣病の予防、被災された高齢者の避難所生活に役立つ知識や技術・支援方法などを学びます。



あなたの地域で講習会を開催しませんか？

自治会や会社、学校などに指導員を派遣して講習会を開催することができます。開催にあたっては、時間や会場、人数などのご希望に合わせて講習内容を決めることができますので、お気軽にご相談ください。

こんな機会にオススメです！

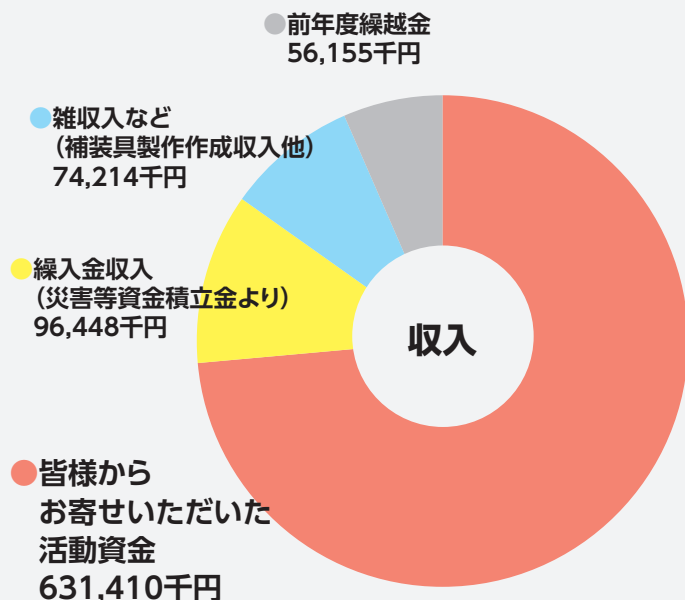
- 自治会などの防災訓練で
- AEDを設置している企業等の研修会で
- PTA活動や学校の授業の一環で

各種講習会の日時やお申し込み方法など詳細についてはホームページをご覧ください。



令和3年度 日本赤十字社千葉県支部 一般会計歳入歳出決算のご報告

一般会計 歳入総額 858,227千円



日頃から県民の皆様には、赤十字活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

日本赤十字社千葉県支部が行っている災害救護活動や救援物資の配布、防災・減災活動の普及、救急法等の普及などの活動は、国や県からの公的資金によらず、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

令和3年度、皆様からお寄せいただいた活動資金は631,410,658円となり、この活動資金をもとに各種事業を実施することが出来ました。

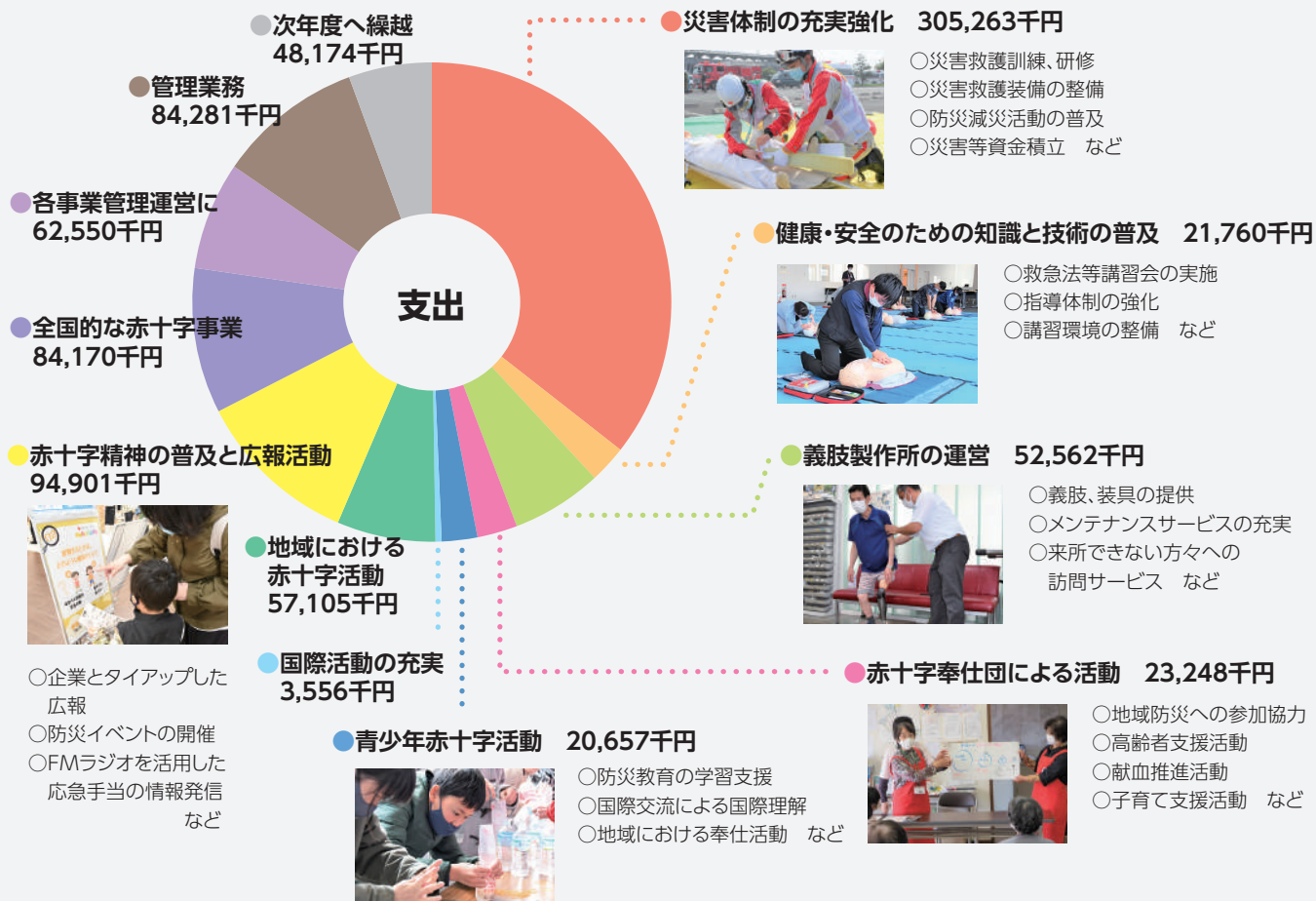
**活動資金へのご協力
ありがとうございました。**



※令和3年度決算については、千葉県支部令和4年度第一回評議員会及び日本赤十字社第100回代議員会において承認されたものです。

一般会計 歳出総額 858,227千円

※各事業を実施させていただきました。



赤十字防災ボランティアを募集しています!! 千葉県赤十字防災ボランティア登録説明会のご案内

災害時には、多くの一般市民や各種団体等がボランティア活動に参加します。赤十字では、災害時に備え、日頃から訓練や研修を行い、有事の際に円滑な救援活動が展開できるようボランティアの登録・養成を行っております。

防災ボランティアにご興味のある方は、ぜひ登録説明会にご参加ください!

- 日 時:令和4年9月11日(日) 10:00 ~ 12:00
- 開催方法:WEB会議形式 (Microsoft Teams)
- 対 象:災害時に被災者支援のボランティア活動を希望する方
- 内 容:①赤十字について②赤十字防災ボランティアの活動について
③赤十字防災ボランティアへの登録について
- 参 加 費:無料
- 申込方法:①氏名②住所③電話番号④メールアドレス⑤登録説明会参加希望の旨をメールにてお知らせください。
- 申 込 先:日本赤十字社千葉県支部 救護福祉課救護係 E-mail:kyuugo2@chiba.jrc.or.jp
- 申込締切:令和4年9月2日(金)



ご参加
お待ちしております!



赤十字防災ボランティアとは...

平時から訓練や研修に参加して災害救護活動におけるノウハウを習得し、災害が発生した場合には、被災者支援のボランティア活動を行います。令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風などでも被災地において活動し、令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。



救援物資の搬送



被災した家屋の片付け



研修会の様子
(倒れたタンスの下敷きになった人の救助)



「赤十字NOW」読者アンケート

よりよい広報紙をお届けするため、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。



活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※ 令和3年度第4四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介します。なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

かすみメンテナンス株式会社(松戸市)
共栄運輸株式会社(木更津市)
株式会社 ジェーソン(柏市)
千葉県医業健康保険組合(千葉市中央区)

千葉県ケーブルテレビ協議会(佐倉市)
株式会社 中島ホーム(千葉市中央区)
株式会社 富士保安警備(東京都墨田区)

医療法人社団愛弘会 みらいウィメンズクリニック(印西市)
吉野酒造株式会社(勝浦市)
株式会社 ランドスケープ(習志野市)

